

## 重点分野に記載した「具体的な取組」の進捗確認等

- 全国在宅医療会議においては、平成29年3月に、会議の関係者が、基本的な考え方に沿って実効的に活動していくため、在宅医療の推進に向けて重点的に対応すべき分野等を定めた「重点分野」を策定し、各団体が今後実施していく具体的な取組の予定等をまとめたところ。

### 重点分野

#### (1) 在宅医療に関する医療連携・普及啓発モデルの構築

国民が安心して在宅医療を選択できるよう、在宅医療の提供体制を着実に整備していくことが重要である。このため、自治体や関係団体による体制構築に資するような、医療機関間の連携モデルや構築に至るプロセス等を整理、収集する。

また、国民の視点に立った、分かりやすい普及啓発を実施するため、地域の取組事例についても整理、収集する。

#### (2) 在宅医療に関するエビデンスの蓄積

国民の主体的な選択に資するような情報を、客観的なデータに基づき示していくことが重要である。そのための以下のような研究を、重点的に推進していく。

##### (例)

- ・ 疾病の進行や治療等、患者が辿るプロセス等に関する研究
- ・ 在宅医療に適した患者の状態、環境条件等に関する研究
- ・ 在宅医療サービスの有効性、手法の標準化に関する研究

- 各団体が行う取組のうち、特に関係者の関心が高いものや他団体との連携が必要なもの等、主要な取組については、事業の実効性を高めるため、本ワーキンググループにおいて事業の進捗報告を含めた上で、取組の方向性等について意見交換することとしてはどうか。